|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | ギリシャ人の自称で，ギリシャ神話におけるギリシャ人の祖・ヘレンの子孫という意味の語は何か。 |  |
| 2 | ギリシャ人が自分たち以外の異民族を称した語は何か。 |  |
| 3 | ギリシャ人の生活・文化・宗教の基本単位で，独立した都市国家を何というか。 |  |
| 4 | ポリスの中心部にあり，神殿が建てられ，祭政の中心となった丘を何というか。 |  |
| 5 | アクロポリスのふもとに位置し，市民の政治・経済・宗教・文化・生活活動の中心となった広場を何というか。 |  |
| 6 | 元来は「民衆の力，支配」という意味で古代アテネにおいてB.C.5世紀を中心に行われた市民参加の政治体制を何というか。 |  |
| 7 | 古代アテネの民主制における最高機関を何というか。 |  |
| 8 | 古代ギリシャ人の自然観・宇宙観を表すことばで，原初，何もない混沌とした状態のことを何というか。 |  |
| 9 | カオスに対して，古代ギリシャ人が用いた，秩序・調和・宇宙などを意味する語を何というか。 |  |
| 10 | 後に，学校（スクール）の語源となり，ギリシャで余暇を意味した語を何というか。 |  |
| 11 | ギリシャ語で，元来「眺めること」を意味し，事物を理性的，客観的に探究する態度を何というか。 |  |
| 12 | 哲学の語源で，ギリシャ語で「知を愛する」ことを意味し，実利に関わりなく，真理を真理として尊び，探究する態度を何というか。 |  |
| 13 | 古代ギリシャ人が理想とした善美の調和した人格や生活のことを何というか。 |  |
| 14 | 宇宙の創造，国や民族の起原などを神や英雄を中心に述べた伝承・説話などを何というか。 |  |
| 15 | ギリシャ神話に登場する神々の主なものを総称して何というか。 |  |
| 16 | 古代ギリシャにおいて，オリンピアの神域で行われた祭典を何というか。 |  |
| 17 | 古代ギリシャのオリンピアの祭典の競技会で，近代に入って，国際的規模で復活されたものを何というか。 |  |
| 18 | ギリシャ神話における大神で，神々の王，雷電の神を何というか。 |  |
| 19 | ギリシャ神話における理想の男性神で，太陽・音楽・予言の神を何というか。 |  |
| 20 | ギリシャ神話における理想の女性神で，美と愛の神を何というか。 |  |
| 21 | アポロンと対極をなし，ローマ時代にはバッカスと呼ばれた酒の神を何というか。 |  |
| 22 | B.C.8世紀ごろにトロイア伝説をもとに神話の集大成ともいうべき作品を書いたギリシャの叙事詩人はだれか。 |  |
| 23 | ホメロスがトロイア戦争の英雄アキレウスを主人公として語った叙事詩を何というか。 |  |
| 24 | ホメロスの作品で，トロイア戦争の英雄オデュッセウスの漂流と冒険を描いた叙事詩を何というか。 |  |
| 25 | ホメロスと並ぶギリシャの叙事詩人で，神話や伝承を集大成し，さらに労働の尊さや農民の生活をテーマとした作品を書いたのはだれか。 |  |
| 26 | ヘシオドスの作品で，神々の系譜と宇宙の生成を神話的に表現したものは何か。 |  |
| 27 | 神話に描かれる神々の超自然的な力や意思により世界と人間の出来事や運命が決定するとした世界観は何か。 |  |
| 28 | 世界の成立や人生の出来事の背後にある法則や原理を理性によって論理的に探究する世界観を何というか。 |  |
| 29 | 神話や伝承を題材として紀元前6～5世紀頃，ディオニュソス神の祭典で上演された演劇の総称は何か。 |  |
| 30 | 神々の定めや人間の力の限界を超えようとする思いあがりを何というか。 |  |
| 31 | 3大悲劇詩人の一人で，『縛られたプロメテウス』などを著した詩人はだれか。 |  |
| 32 | 3大悲劇詩人の一人で，『オイディプス王』などを著した詩人はだれか。 |  |
| 33 | 3大悲劇詩人の一人で，『トロイアの女』『メディア』などを著した詩人はだれか。 |  |
| 34 | 古代ギリシャにおいて，神話的解釈を排し，合理的な解釈で世界の根本原理を探求した人を何というか。 |  |
| 35 | ミュトス（神話）に対するギリシャ語で，理性・論理・ことばなどを表すものを何というか。 |  |
| 36 | 自然哲学者が探究した万物の始源・原理を何というか。 |  |
| 37 | イオニアのミレトスの人で自然哲学の祖とされる人物はだれか。 |  |
| 38 | アルケーについてのタレスの有名なことばは何か。 |  |
| 39 | タレスに続き，万物のアルケーは“無限なもの（ト-アペイロン）”であるとした人物はだれか。 |  |
| 40 | 万物のアルケーを空気であるとした人物はだれか。 |  |
| 41 | タレス・アナクシマンドロス・アナクシメネスの3人を何とよぶか。 |  |
| 42 | 数学者としても知られ，万物のアルケーを数であるとした哲学者はだれか。 |  |
| 43 | 万物のアルケーを火であるとし，事物の運動・変化に関心をはらった人物はだれか。 |  |
| 44 | ヘラクレイトスの名言として知られ，運動・変化について記したことばは何か。 |  |
| 45 | 「有るものは有り，無いものは無い」のことばで知られ，運動・変化を否定した人物はだれか。 |  |
| 46 | パルメニデスの後継者で運動・変化を否定する“パラドクス”で有名な人物はだれか。 |  |
| 47 | 足の速い者でも先をゆっくり歩く者に追いつけないと説くゼノンのパラドクスを何というか。 |  |
| 48 | パルメニデスを中心とし，存在の不変・不動を主張した学派は何か。 |  |
| 49 | 万物のアルケーを土・水・火・風の4元素とした人物はだれか。 |  |
| 50 | エンペドクレスは4元素を結合・離反し，万物を形成・生滅させる原理を何とよんだか。 |  |
| 51 | 万物のアルケーを原子（アトム）であるとし，その組み合わせにより，万物は生成されるとした人物はだれか。 |  |
| 52 | デモクリトスによって説かれた理論を何というか。 |  |
| 53 | 世界は最小の要素であるスペルマタ（種子）の混合によって形成されたと説いた人物はだれか。 |  |
| 54 | アナクサゴラスは，世界を混沌の状態から秩序あるものとした原理は何であるとしたか。 |  |
| 55 | ギリシャ語で“知恵者”を意味し，B.C.5世紀ごろ，アテネを中心に政治的知識や技術を教えた職業教師の総称を何というか。 |  |
| 56 | ソフィストが教えた政治上の技術は何か。 |  |
| 57 | 古代ギリシャにおいて自然を意味した語は何か。 |  |
| 58 | 自然に対立して，人為を意味する語を何というか。 |  |
| 59 | B.C.5世紀ころに活躍したソフィストの代表者で，真理や価値の絶対性を否定し，個々人の主観を尊重した人物はだれか。 |  |
| 60 | プロタゴラスが述べた有名なことばで，個人の主観的判断が真理を決定するという意味のものは何か。 |  |
| 61 | プロタゴラスと並ぶソフィストの代表者で，真理の認識について，懐疑的な立場をとった人物はだれか。 |  |
| 62 | ソフィストの思想全体に共通する立場で，真理や価値判断は絶対的なものではないという考え方を何とよぶか。 |  |
| 63 | 真理や価値の判断基準は客観的なものではなく，個人の主観であるとする考え方を何というか。 |  |
| 64 | 何が善か，何が正かではなく，いかにそのように思わせるかを主眼とした，後期ソフィストに著しい弁論を何というか。 |  |
| 65 | B.C.5世紀のアテネの哲学者で，無知の自覚から愛知の精神によって魂をより善いものにしようと説いた人物はだれか。 |  |
| 66 | アポロン神のお告げのことで，ソクラテスの活動の契機となったことで有名な託宣を何というか。 |  |
| 67 | デルフォイのアポロン神の神託で，ソクラテスに関するものとして有名なことばは何か。 |  |
| 68 | デルフォイのアポロン神の神殿にある格言で，人間の自己認識をすすめ，ソクラテスの思想の中核となったことばは何か。 |  |
| 69 | ソクラテスの思想の出発点となったもので，真の知は無知を自覚することから始まるとの意味を含んだ語は何か。 |  |
| 70 | ソクラテスは，無知である自分を何と称したか。 |  |
| 71 | ギリシャ語で“神的な力・霊的なもの”を意味し，ソクラテスの行動を規制したものは何か。 |  |
| 72 | 相手との対話により真理に達するソクラテスの方法を何というか。 |  |
| 73 | ソクラテスは問答法のことをとくに何とよんだか。 |  |
| 74 | ソクラテスはなぜ問答法を助産術とよんだか。 |  |
| 75 | 自らを無知であるとし，問答によって知者であるはずの相手が実は無知であることに気づかせるソクラテスの方法を何というか。 |  |
| 76 | 元来，ギリシャ語で卓越性，すぐれていることを意味し，ソクラテスが探究したものは何か。 |  |
| 77 | ソクラテスは，人間にとってのアレテーとは結局のところ，何のアレテーであるといったか。 |  |
| 78 | 魂をより善きものにしようとすることをソクラテスは何とよんだか。 |  |
| 79 | ソクラテスは人間にとって大切なことは，ただ生きるのではなく，何であるとしたか。 |  |
| 80 | 真の徳とは徳について知ることから始まり，真の知とは実践知であることを何というか。 |  |
| 81 | 徳は知によって裏付けられるものであるとするソクラテスの知性尊重の立場を何というか。 |  |
| 82 | 真の幸福とは徳のある生き方，つまり，善く生きることであるという考え方を何というか。 |  |
| 83 | 告発されたソクラテスがアテネ市民に対して，自分の信ずることと生き方を述べた作品は何か。 |  |
| 84 | 獄中のソクラテスが，なぜ自分が死を選ぶかを友人に語った作品は何か。 |  |
| 85 | ソクラテスが死にのぞんで，魂の不滅について語った作品は何か。 |  |
| 86 | ソクラテスを主人公とした対話篇の作者はだれか。 |  |
| 87 | ソクラテスの影響を受けたアンティステネス，アリスティッポス，エウクレイデスらによってつくられた学派を何というか。 |  |
| 88 | 小ソクラテス学派のうち，アンティステネスを中心とし，禁欲を重んじた人々を何というか。 |  |
| 89 | 小ソクラテス学派のうち，アリスティッポスを中心とし，快楽を重んじた人々を何というか。 |  |
| 90 | 小ソクラテス学派のうち，エウクレイデスを中心とし，弁論術を重んじた人々を何というか。 |  |
| 91 | アテネの軍人，歴史家で『ソクラテスの思い出』を著した人物はだれか。 |  |
| 92 | アテネの喜劇作家で，ソクラテスを風刺的に描いた人物はだれか。 |  |
| 93 | アリストファネスがソクラテスを喜劇的に風刺した作品は何か。 |  |
| 94 | ソクラテスの課題を受け，不変の真実在や国家のあり方などを説いた人物はだれか。 |  |
| 95 | アイディアの語源で，プラトンが永遠の真実在であり，個々の事物，事象の原型・理想であるとしたものは何か。 |  |
| 96 | プラトンは，イデアは何により知ることができるとしたか。 |  |
| 97 | 感覚の世界で，現実の生滅変化する世界を何というか。 |  |
| 98 | プラトンが，最高のイデア，イデアのイデアとしたものは何か。 |  |
| 99 | イデアが現実の個物のなかに存在する，そのあり方を何というか。 |  |
| 100 | 元来，ギリシャ神話の恋の神で，プラトンが，イデアにあこがれる魂のはたらきとしたものを何というか。 |  |
| 101 | 人間の魂が，故郷であるイデア界を思い出し，真理を認識しようとすることを何というか。 |  |
| 102 | プラトンがイデア界を太陽の光に満ちた外界，現実界を光のない洞窟に喩えたことを何というか。 |  |
| 103 | プラトンは魂をその働きから3つに分類したが，それらは何か。 |  |
| 104 | 理性の徳を何というか。 |  |
| 105 | 気概の徳を何というか。 |  |
| 106 | 欲望の徳を何というか。 |  |
| 107 | 知恵・勇気・節制が調和されて成立する徳とは何か。 |  |
| 108 | 知恵・勇気・節制・正義をまとめて何というか。 |  |
| 109 | プラトンによれば知恵を担当する階級は何か。 |  |
| 110 | プラトンによれば勇気を担当する階級は何か。 |  |
| 111 | プラトンによれば節制を担当する階級は何か。 |  |
| 112 | プラトンによればそれぞれの階級の人がそれぞれの徳を充足させることにより何が成立したとするか。 |  |
| 113 | 哲学者が統治者となるか，統治者が哲学するかによってうまれる政治をプラトンは何とよんだか。 |  |
| 114 | 登場人物たちの対話によりテーマを展開するプラトンの作品の形式を何というか。 |  |
| 115 | 多くの登場人物たちによってエロースについて語られるプラトンの著書は何か。 |  |
| 116 | イデア論と理想国家，哲人政治が述べられるプラトンの著書は何か。 |  |
| 117 | プラトンがアテネ郊外に開いた学園を何というか。 |  |
| 118 | プラトンのイデアを起源とし，価値として，理想を重視する考え方を何というか。 |  |
| 119 | 世界や存在についてイデア界と現象界という二つのとらえ方をする立場を何というか。 |  |
| 120 | プラトンに師事しつつも，師のイデア論を批判し，現実主義的な存在論や倫理学を説いた人物はだれか。 |  |
| 121 | アリストテレスの母国はどこか。 |  |
| 122 | アリストテレスに師事し，後に世界帝国をつくりあげたマケドニアの王はだれか。 |  |
| 123 | アリストテレスの存在論の概念で，プラトンのいうイデアに相当し，事物に内在し，そのものたらしめている本質を何というか。 |  |
| 124 | アリストテレスが，エイドスとともに事物を構成し，事物の素材であるとしたものを何というか。 |  |
| 125 | 本来あるべきものの可能性としての状態のことで，できあがった彫刻に対する彫刻の素材にたとえられるものを何というか。 |  |
| 126 | デュナミスに対立する概念で，事物のあるべき現象の状態のことで，彫刻の素材に対するできあがった彫刻にたとえられるものを何というか。 |  |
| 127 | アリストテレスが説いた事物や物事を形成する素材,概念・定義，運動変化やはたらき，目的といった4つの原因や根拠を何というか。 |  |
| 128 | アリストテレスの分類した二つの徳のうち，理性を働かせる徳を何というか。 |  |
| 129 | アリストテレスは最高善とは何であるとしたか。 |  |
| 130 | アリストテレスは，知性的徳が最も純粋な形で真理探究へと向かう理想の状態を何というか。 |  |
| 131 | アリストテレスによれば，善悪や行為の適切さを判断する能力（徳）とは何か。 |  |
| 132 | アリストテレスが知性的徳とは区別した徳で，感情・欲望にかかわる倫理的徳を何というか。 |  |
| 133 | 習性的徳は何によって身につくか。 |  |
| 134 | 習性的徳を成立させる原理となるもので，例えば，おく病と向こうみずの間としての勇気のように，両極端を避けた程度の良さを何というか。 |  |
| 135 | 人間存在のもつ社会性を強調したアリストテレスの有名なことばは何か。 |  |
| 136 | アリストテレスは，ポリス的存在として身に付けるべき徳を，秩序と公正の観点から何であるとしたか。 |  |
| 137 | アリストテレスは秩序やポリスの法を守るという観点から分類した正義を何とよんだか。 |  |
| 138 | アリストテレスは日常生活における公正の観点から分類した正義を何とよんだか。 |  |
| 139 | アリストテレスが分類した正義のうちの一つで，当事者の能力や功績によって，財貨などを分け与えることを何というか。 |  |
| 140 | 配分的正義に対し，各人の能力・功績などにかかわらず，平等に与えられることを何というか。 |  |
| 141 | アリストテレスが，ポリス的人間として，正義とともに重視した互いの親愛の情を何というか。 |  |
| 142 | アリストテレスは，公共の利益を主眼とした政治形態を3つに分類したが，それらは何か。 |  |
| 143 | アリストテレスは，君主制，貴族制，共和制が本来のあり方を失うと，それぞれ，どのような堕落形態となるとしたか。 |  |
| 144 | アリストテレスが設立した学園は何か。 |  |
| 145 | アリストテレスのつくりあげた学派を何というか。 |  |
| 146 | アリストテレスが事物の存在のあり方について述べた著書を何というか。 |  |
| 147 | アリストテレスが，徳や中庸について述べた著書を何というか。 |  |
| 148 | アリストテレスが，ポリスのあるべき姿や，政治の諸形態について述べた著書は何か。 |  |
| 149 | プラトンに代表されるアイディアリズムに対し，事物や社会について，現実を重視する立場を何というか。 |  |
| 150 | ギリシャ文化の総称をユダヤ・キリスト教文化に対して何というか。 |  |
| 151 | アレクサンドロス大王の東方遠征（または死）以後，ローマ帝国の成立に至るまで，ギリシャ文化が東方世界に流布した時代を何というか。 |  |
| 152 | ヘレニズム時代のポリスの崩壊と世界国家を意味することばを何というか。 |  |
| 153 | 本来はポリスを失った人という意味であるが，転じて世界市民を表す語を何というか。 |  |
| 154 | ヘレニズム時代に成立し，国家や民族の枠を超えて，理性をもつかぎり平等であるという考え方を何というか。 |  |
| 155 | ヘレニズム時代の懐疑派にみられた，判断中止のことで，確実な判断はできないとすることを何というか。 |  |
| 156 | ヘレニズム時代の代表的思想家で，理性により情欲を抑えることに幸福を見いだした人物はだれか。 |  |
| 157 | ゼノンによりつくられた学派を何というか。 |  |
| 158 | ゼノンの立場はその傾向から一般に何とよばれるか。 |  |
| 159 | ストア派によれば，世界を支配している普遍的原理は何か。 |  |
| 160 | ストア派が説く理想のあり方で，外的欲望などに惑わされない心の状態を何というか。 |  |
| 161 | ストア派の人々が，理性に従って生きることを強調した生活信条は何か。 |  |
| 162 | 共和制ローマの政治家で，『国家論』などを著したストア派の思想家はだれか。 |  |
| 163 | 『幸福な人生について』などを著した古代ローマのストア派の哲学者で，ネロ帝により死を強いられた人物はだれか。 |  |
| 164 | 奴隷から自由人となり，『語録』『提要』で知られる後期ストア派の哲学者はだれか。 |  |
| 165 | ローマ五賢帝の一人で，エピクテトスと交流をもちストア派の思想に傾倒した人物はだれか。 |  |
| 166 | マルクス＝アウレリウスが記した著作は何か。 |  |
| 167 | ヘレニズム時代の代表的思想家で，人生の目的は快楽で，その充足こそ幸福であるとした人物はだれか。 |  |
| 168 | エピクロスによりつくられた学派を何というか。 |  |
| 169 | エピクロスの立場は，一般に何と呼ばれるか。 |  |
| 170 | エピクロスが説く理想のあり方で，永続的精神的快楽であるところの満足した心の状態を何というか。 |  |
| 171 | エピクロス派の人々の生活信条を表したもので，アタラクシアを乱すものへの参加を戒めたことばは何か。 |  |
| 172 | エピクロス派がアタラクシアとともに理想の境地とした，満ち足りる状態を何というか。 |  |
| 173 | ヘレニズム時代に心の平静をえるために，経験的な事柄の真偽についてエポケー（判断停止）を唱え，懐疑論の祖とされる哲学者はだれか。 |  |
| 174 | 『物の本質について』の作者で知られるローマ時代の詩人・哲学者はだれか。 |  |
| 175 | プラトン哲学を継承し，神秘主義思想やストア哲学を取り入れ，3世紀に活動した哲学者は誰か。 |  |
| 176 | プロティノスが提唱し3～6世紀に成立した哲学を何というか。 |  |
| 177 | プロティノスはすべてのものがそこから流出する超越的存在を何とよんだか。 |  |